



学校通信

夕陽丘

第48号



【校長挨拶】

地域からも愛される夕陽丘生に

校長 恩知 理加

平成28年度は創立110年に当たり、「夕陽らしさ」を再認識した年でした。110周年は「生徒が主役」をコンセプトに、71期生による「110年の伝統と誇りを胸に新たな歴史へ」のキャッチフレーズ、69期生による体育祭のタオルデザイン、自治会の皆さんによるファイルのデザイン、各クラブの熱演、陸上ホッケーインターハイ出場、70期軽音楽部スニーカーエイジグランプリ大会出場・国際シンポジウムでのメタセコイアの発表、音楽科の様々な演奏会での見事な演奏と立ち居振る舞いなど、紙面に書ききれないほど生徒が活躍しました。また、記念式典及び69期生卒業式のアカペラの校歌四部合唱は胸が熱くなり、一生忘れることはありません。

「豊かな情操と気品のある人材の育成」の教育方針のもと、今年重点と4本柱とを掲げ、教育活動を展開してきました。

- 夕陽丘110周年の歴史と伝統を踏まえ、新たな教育活動を展開する。
- すべての教育活動にグローバル人材の育成、主体的・協働的な学びの観点を取り入れる。

生徒や保護者の皆様による学校教育自己診断の結果は、ほとんどの項目で昨年度を上回り、特に、進路希望の実現、命の大切さやルール、国際交流活動、あいさつ、PTA活動等の項目が大きくポイントを上げました。

今年の新たな取組を3つ紹介します。

1つめは、平和について考える機会に恵まれたことです。前オバマ大統領の広島訪問を受け、アメリカニューヨーククラークスタウン生と「平和」についての討論を行いました。本校生は英語のプレゼンで「戦争について考えることが、戦争を風化させないために私たちにとってできることではないか。」「まわりの人たちを愛することによって平和が保たれる。」など「平和」への思いや考えを伝えました。クラークスタウン生からは「人々は少数民族を差別するのではなく、その多様性を受け入れるべきだ。」「戦争において人は酷いことを行なってきたが、そのようなことを二度と起こさないようにするには、過去を忘れず、そのことを口に出して伝えることが唯一の方法である。」などの意見が述べられました。また、2年生はグアム修学旅行を前に、95才の海軍兵士の方の体験を聴きました。講演後生徒一人ひとりがお話を受け止め、自分たちに何ができるかを考えていました。修学旅行で訪れたジーコ平和慰霊公苑の慰霊碑の前で真剣に手を合わす姿が印象的でした。

1. 一人ひとりの進路希望を実現できる学力を身に付ける学校

2. 自ら考え、行動できるように自主・自律の心を養う学校

3. 国際交流体験を通して自己発見と他者理解を深める学校

4. 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

2つめは、天王寺区にある学校としてボランティアに参加し、地域の方々からお褒めの言葉を多数いただきました。ホッケー部・サッカー部が五条小学校ふれあいフェスタ、音楽科による鑑賞会、1年サッカー部選手・マネージャーによる地域避難訓練の協力、高齢者や障がいのある方へのバリアフリーコンサートでは天王寺・夕陽丘・高津中学校の吹奏楽部・合唱部と本校吹奏楽部が合同で演奏し、中学生からは「高校生の人からアドバイスをもらえてよい経験になった」、来場者からは「中高生の皆さんが本格的な演奏をされてプロみたい！迫力があり素晴らしかった。きらきらしていた。」など感想が寄せられました。

3つめは、大阪教育大学との連携事業で、教師をめざす高校生対象の「教師にまっすぐ」、学び続ける教員を育てる「教師の学び舎」に本校から生徒教員が参加しました。大阪教育大学コンソーシアム加盟校（府内32校）が参加できるものです。夕陽生は学習・部活動等に積極的に取り組み、思いやりがあり、協調性があり、人のために役立つことが好きな皆さんは教職員になる資質が高いと考えます。職業の1つに考えてみてはいかがでしょうか。

このように生徒の日々の取組や姿勢に地域や学校を訪れる方から「いい感じの学校ですね、いい雰囲気の子供さんですね」とお声をいただいています。皆さんでさらにいい学校にし、いい大人になっていきましょう。

最後になりましたが保護者の皆様、同窓生の皆様、いつも応援有難うございます。111年目も「オール夕陽」で宜しくお願いします。

【第3学年】

70期・71期の皆さんへ

主任 草間 義彦

3月1日に69期生が卒業しました。3年間の学校生活の様子や夕陽丘高校に対する気持ちが伝わってくる、思いのこもったいい式でした。新2年・3年の皆さん、卒業までは、あっという間です。やり残しのないよう、一日一日を大切に過ごしてください。

充実した高校生活を送るために必要なことは、「行い」の意味を理解することです。このような寓話があります。『作業をしている二人に、「何をしていますのですか？」と尋ねると、一人は、見ればわかるだろうという顔つきで「穴を掘っている」と答えます。もう一人は、「教会の土台を作るための穴を掘っています」と生き生きとした表情で答え、より大きな穴を掘っています。』やっていることの意味を理解し、その「行い」に価値を見出せば、効率よく働くことができる、という事を教えています。この話を、朝学や日々の授業に置き換えてみてください。高校での学習は、「自身の成長」「進路実現」という大きな目標を達成する為の「行い」です。その根幹を理解し取組んでください。そうすれば、必ず成果は上がるはずですよ。

この春休み、自分の「進路」について真剣に考えてみてください。目標設定を早くすること、行動を起こすことが成功の鍵です。「何をしたいのかわからない」という人は、とりあえず様々な分野について調べてみてはどうでしょうか。その中から自分にあったもの、やりたいものが見つかるのでは。「面倒だな」「それは無理だ」と「できない理由」を考えて行動を起こさなければ、どんな結果もありません。

皆さんの1年後、2年後に期待をしています。頑張ってください。



【第2学年】

「2 a b」を引き出せ！

主任 植松 健一郎

「110年の伝統と誇りを胸に新たな歴史へ」 今年度は、本校創立110周年でした。さまざまな記念事業が行われる中、新制70期生という、節目の学年の君たちは、本当に110周年にふさわしい活躍してくれました。重複するので詳しくは触れませんが、クラブ活動の中心を担い、大きな成果を残すとともに、個人でも活躍をした人がたくさんいました。また、あらたなボランティア活動にも取り組みました。そして、なにより修学旅行をみんなの力で成功させることができました。

そんな中、今年度、最も感動したのは、合唱コンクールの後の学年全員による校歌の混声四部合唱でした。110周年記念式典へ向けた練習を兼ねたものでしたが、本番以上に感動的でした。皆さんの気持ちが高揚していたので、ヴィオラホール一杯に響く歌声の力強さと美しさ。学年スローガンの「響き合う70期」に相応しい歌声でした。

4月からは3年生。さあ、これまで発揮してきた力を今度は自らの進路実現に向けて投入するときがやってきました。これまでも繰り返し、みなさんに訴えてきましたが、「受験は団体戦」の側面を強くもっています。数学の公式にたとえるなら、一人ひとりがばらばらに力を出しても「 a^2+b^2 」にしかありませんが、力を合わせればさらに「2 a b」の力が生じます。それぞれの目指す道は違っても、学年のスローガンどおり、みんなで力を合わせて学年全体で受験を乗り切っていきましょう。

【第1学年】

「高校時代に戻れたら」

主任 森川 栄一

母校の教壇に立ち、後輩である夕陽生と接していると、時に「高校時代に戻れたら」と思うことがある。当時、私は野球部に在籍していた。練習が嫌いだった自分は何度も退部を考えた。勉強との両立にも苦しんだ。それでも何とか最後まで続け、大学でも野球をすることができた。教職に就き、顧問として野球に携わってからは、勝って泣き、負けて泣く部員からたくさんの感動を分け与えてもらった。今でも交流のある、高校、大学の仲間や、昔の教え子は私のかけがえない宝物である。「高校時代に戻れたら」、間違いなく再び野球部に入るが、今度は現在の部員のように、もっと自分に厳しく練習に取り組むだろう。

中学1年から基礎英語を聞き始めて、英語が大好きになった。基礎英語、続基礎英語(現在の基礎2、3)のおかげで英語の教師になれたと言っても過言ではない。ところが高校に入って、受験勉強やクラブで余裕がなくなり、ラジオ講座を一切聞かなくなった。そのことを本当に後悔している。超一流講師の講義と生の英語が聞けるNHKの講座は英語の4技能を向上させる最高の教材である。「高校時代に戻れたら」、毎日ラジオ講座を聞き、音読を繰り返し、将来の海外留学を目指して精一杯英語に取り組むだろう。

私が在籍していた当時の夕陽は今ほど行事がさかんではなく、行事に燃えるような雰囲気はなかった。それでも普段の何気ない会話等で友人ができ、お互いの家に泊まっては夜を徹して色々な事を語り合った。修学旅行でクラスメートと過ごした楽しい思い出も一生の財産である。学生時代の友人は何年たっても「おまえ、おれ」で呼び合える仲であり、腹を割って話ができる存在である。「高校時代に戻れたら」、当時と同様に、機会を見つけては友人と遊び、語らい、今度は今の夕陽生のように行事にも熱くなり、学生生活を精一杯謳歌することだろう。

71期生のみんなは真面目で明るく、何事にも前向きに取り組む生徒達である。毎朝25分に登校し、朝学にも熱心に取り組んできた。君たちの1年間の努力に敬意を表したい。君たちが実行している「毎日こつこつ頑張る地道な努力」、これこそが、私の一番に望む「高校時代に戻れたら」であろう。

【教務部】

自主自律——自分で考える「学び」を

2016年度も終わろうとしています。今年度は夕陽丘高校にとって110周年という記念すべき年でしたが、皆さんにとってどのような1年だったのでしょうか。夕陽丘高校は教育の柱の1つとして「自主自律」を掲げています。知識の習得に加えて、様々な機会を通じて生徒の皆さんが自主性を育み、自律した人間に成長できるような環境作りを目指しています。

ところで、みなさんはどのような姿勢で日々の学習に臨んでいますか。授業中にノートを取り、課題を提出し、考査に向けて習った事をただ覚えるだけで勉強できていると満足していませんか。もちろん、それも大切なことです。しかし、それだけで「本当の学力」がつくのでしょうか。今、この変動の時代、「自発的に考えて行動できる人間」が求められています。そのニーズを受けて「正解が用意されていない課題に挑戦できる人材集め」のために、入試で論文などを課し、総合的な学力を評価しようとしている大学もあります。

では、日々の学習はどうあるべきなのでしょう。自分で論文を書くところをイメージしてみてください。論文を書くためには様々な背景知識や情報集めのノウハウが必要です。「知識の詰め込み」は批判の対象になりますが、知識がなければ論文は書けません。人を説得する力も持ちません。

日々の地道な学習で積み重ねた知識をベースに、そこから常に自分で考え、自分の意見を持つように心掛けてください。

もう1つアクティブな学びを進める上での重要なポイントは、発信することです。友達に問題の解き方を教えているうちに自分の理解も深まり、記憶に残ったことはありませんか、自分ひとりでは思い付かない考え方を発見することにもなります。自分で学び、それを友と共有し、友から学び、お互いを高め合う。まさに切磋琢磨です。

もうすぐ新年度が始まります。新2年生は、3年生から引き継いで学校行事・部活動等の中心を担います。学習の基礎をしっかりと固める時期でもあります。新3年生はいよいよ進路実現に向けてラストスパートを掛けていきます。先ずこの春休み中に新年度の目標や計画を立て、自分の在り方を考えてみてください。

【進路指導部】

— 行事報告10月以降 —

●1年学部学科分野説明会

10月27日 大学のそれぞれの学部がどんな職業と結びついているのか？

同志社女子大学、関西大学、立命館大学、近畿大学、龍谷大学、大阪音楽大学など19大学の先生方から説明をしていただきました。

●進研模試

10月29日 1年2年全員と3年の希望者が進研模試を受験しました。

模試の監督にPTAの5人の方が協力していただきました。ありがとうございました。

●1年進路講演

11月10日（木）ヴィオーラホールで「夢を持って生きることの意味」と題して

佛教大学教育学部原清治教授にご講演をしていただきました。

進路を考える上で必要なことを多彩な表現でわかりやすく語っていただきました。

●2年分野別学校説明会

11月10日（木）

大阪教育大学、香川大学、関西学院大学、関西大学、同志社大学、近畿大学、龍谷大学など22大学の先生がたに講義をしていただきました。

●3年面接講習および面接練習

11月11日 指定校推薦や公募推薦で面接が必要な生徒向けに、大阪IT会計専門学校の菊池徹氏から面接の受け方について、指導していただきました。翌日から5日間3年の担任と進路指導部の教員が面接官となって面接練習をしました。

●2年進路講演

1月17日(木) ヴィオーラホールで「夢を実現する人はこう考えます。」昨年につき、近畿大学入学センター課長 屋木 清孝先生にユーモラスにしかもポイントを押さえたご講演をしていただきました。ほぼ同じ内容で16:30から保護者の方々にもご講演をしていただきました。親子で共通認識を持っていただけたのではないかと思います。

●模試振り返り

1月15日(木)模試を受けっぱなしにしないで、どうやって受験に向けて学力をつけていくかということで、ベネッセコーポレーションの今井氏に来ていただき詳しいデータを基に講演していただきました。

●1年リクルート講演会①

1月19日 「未来に必要な力」～近未来の社会から、将来の進路を考える。～ 岡田久美子氏

●センター直前模試1月5日、6日、センター試験と同じ時刻に実施、終了後、生徒たちは、善哉(ぜんざい)を食べました。70名参加

●センター試験説明会

1月12日 3年 受験上心得ておくべきことについて説明をさせていただきました。
126名参加

●進研模試

1月14日 1年2年全員進研模試を受験しました。

●センター試験自己採点会

1月16日 受験大学を決めるために、3年生137人がデータを提出しました。

【保健部】 一本校における学校生活に及ぼすやせ思考への不安(夕陽丘高校生の実態より)

厚生労働省の中樞性摂食異常者の全国疫学調査によると、『2010～2012年の学校を対象にした疫学調査では、女子の神経性食欲不振症(AN)は小学高学年から発症があり、中学3年生で急増し、高校生では0.2～0.3%に見られ、(途中略)摂食障害全体は1980年からの20年間に約10倍の増加がみられ、とくに1990年代後半の5年間だけで、ANは4倍、BN(神経性過食症)は4.7倍と急増している。』

次は本校における身長と体重測定結果(学年ごと)と全国・大阪平均との比較の表である。

	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子
身長平均	168.8	157.5	169.9	158.2	170.4	157.3
大阪	168.7	156.9	170	157.9	170.9	158.1
全国	168.3	157.1	169.8	157.6	170.7	157.9
体重平均	56.7	50.1	57.6	51	61.6	50.9
大阪	58.4	50.8	59.9	53.1	62.4	52.9
全国	59	51.5	60.6	52.6	62.5	53

保健室に来室する生徒の様子から、将来摂食障害の発病が懸念される食行動異常の増加を実感して久しい。摂食障害の発症にはいたらずとも、その予備群と思われる生徒の在籍があるように思われる。果たして、摂食障害予備群は、全校生徒のどれぐらいの割合を占めるのであろうか。発症をなんとか水際で、くいとめることはできないものか。そのためには生徒たちの日常生活の中で、どのような背景が影響するのであろうか。影響される背景がわかれば、日常の保健指導の中で、摂食障害を予防するために生かすことができるはずである。このような目的意識のもと、本校生の摂食態度を、自己肯定感、睡眠状態、異性/同性ボディイメージ、月経状態の4つの面から多角的に検討するために、昨年度7月に健康調査を実施した。

調査結果において、現在体重－現在体重＞0を瘦身願望群とした。本校生徒において、現状の体重よりも痩せたいという思いを持つ生徒の実態として下記の表にみられた。

		男	女	合計	χ^2
1年	現状満足群	60(87.0)	100(40.7)	160(50.8)	***
	瘦身願望群	9(13.0)	146(59.3)	155(49.2)	
	合計	69	246	315	
2年	現状満足群	83(87.4)	75(33.8)	158(49.8)	***
	瘦身願望群	12(12.6)	147(66.2)	159(50.2)	
	合計	95	222	317	
3年	現状満足群	87(81.3)	73(34.9)	160(50.6)	***
	瘦身願望群	20(18.7)	136(65.1)	156(49.4)	
	合計	107	209	316	
全体	現状満足群	230(84.9)	248(36.6)	478(50.4)	***
	瘦身願望群	41(15.1)	429(63.4)	470(49.6)	
	合計	271	677	948	

【音楽科より】

♪音楽交流を通して・・・

今年度は、大阪芸術大学、大阪教育大学、大阪交響楽団との共演、韓国ブチョン管弦楽団との交流演奏会、ハワイ・プナホウ高校とのTV会議など、数多くの音楽交流の機会を得ることができました。プロの演奏家や大学生の演奏を肌で感じることで、生きた技を受け継ぐ貴重な経験となりました。また、海外の生徒との交流では、演奏を通してお互いに触発し合えたことや、人柄に触れ合うことで世界観を広げることができました。音楽交流を通して、人との出会いによって得られたことに感謝し、今後の音楽活動に繋げていきたいと思えます。



韓国ブチョン管弦楽団交流演奏



大阪交響楽団との共演



ハワイ・プナホウ高校とのTV会議

♪これまでの活動

- 1 2月22日(木) 介護施設チャリティーコンサート(有志出演)
- 1 2月23日(金) 夕陽丘セントポリア クリスマスの集い(有志出演)
- 1 2月25日(日) 第5ブロック音楽会(1年和楽器出演)
- 1月13日(金) 韓国ブチョン管弦楽団交流演奏会
- 1月28日(土) 第164回 学内演奏会(ピッコロコンチェルティスタ)
- 2月4日(土) 大阪交響楽団 第95回名曲コンサート 歌劇「魔笛」(有志演奏)
- 2月5日(日) 音楽科3年生演奏会
- 2月10日(金) ハワイ・プナホウ高校TV会議「海を越えたコンサート」
- 3月7日(火) 第10回ウィーン音楽研修旅行壮行会

♪今後の予定

- 3月19日(日)～27日(月) 第10回ウィーン音楽研修旅行

【国際交流委員会】

—夕陽丘から世界に羽ばたこう—

〈平成28年度 活動報告〉

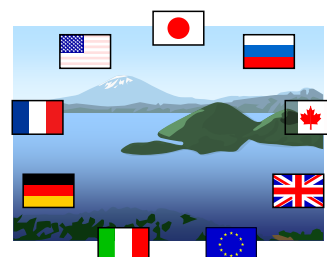
- 4月 留学生1名受け入れ（アメリカ）、留学生歓迎会・NY 語学研修報告会
- 5月 台湾・鳳新高級中学来校
- 6月 NY・クラークスタウン高校来校、留学生が上牧町国際交流イベントに参加
- 7月 留学生4名お別れ会（アメリカ・カナダ・中国）、AIU 米国高校生国際プログラム来校
- 9月 留学生5名受け入れ（アメリカ・ノルウェー・ドイツ・中国）
- 10月 留学生歓迎会・短期留学報告会
- 11月 ハワイ・プナホウ高校とスカイプ交流今年度もスタート
- 12月 韓国・国立国楽高等学校来校
英語ライティングセミナー（1年生）、英語落語体験講座（2年生）
- 1月 韓国・ブチョン青少年弦楽合奏団来校、留学生が上牧町国際交流イベントに参加
留学生1名お別れ会（アメリカ）、大阪国際交流センターで日韓青少年交流会に参加
留学生が高校留学生日本語による体験発表会に参加、70期生グアム修学旅行
- 3月 留学生1名お別れ会（ドイツ）、ウィーン音楽研修



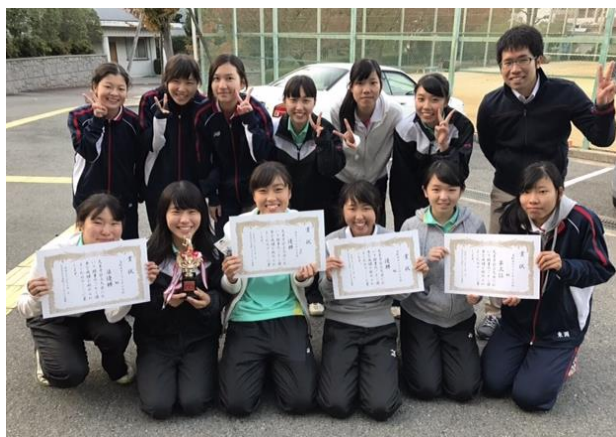
3月6日 留学生お別れ会

生徒のみなさん、今年度は留学生や海外の人たちと話すことができましたか？異文化に触れることで、価値観が広がります。異文化を知ることで、日本の良い所や自分自身を見直すきっかけにもなります。夕陽丘高校は国際交流を教育の4本柱の1つに掲げ、色々な機会があります。自分次第で、留学生と話すこともできるし異文化を知ることもできます。それがきっかけとなって、自分のしたいことや好きなことが見つかるかもしれません。少しでも面白そうだなと思ったらチャレンジしてみましょう。また、1年生はRecitation Contest、2年生はSpeech Contestが行われ、放課後にはベルリッツの英会話講座が行われるなど、英語を学ぶ機会も充実しています。

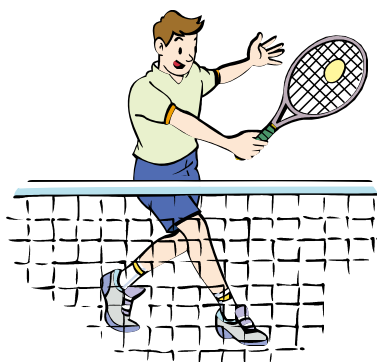
しっかり勉強しましょう！海外の人たちとジェスチャーでも意思疎通できますが、英語ができれば、世界中の人たちと深くコミュニケーションをとることができます。夕陽丘からぜひ世界に羽ばたいて下さい！



【部活訪問 ソフトテニス部】 —チーム力を高める部活動へ向けて—



ソフトテニス部は、平日は毎日、休日は土曜日の午前か午後に活動しています。現在、部員数は1年・女子9人、2年・女子9人の18人です。ソフトテニス経験者・初心者に関わらず一緒に練習しています。基礎練習からゲームの練習まで幅広く、1つでも多くの試合で勝てるように、工夫しながら練習しています。日々の活動では、指示されるままに練習するのではなく、選手個人として自分には何が必要で、チームの一員としてどうする必要があるのか、常に考えて行動できることを重視しています。これは、テニスの技術が上達すること以上に、高校卒業してからも役立つことだと確信しています。今後はさらに、一人ひとりが自身の課題と向き合っ、それぞれの目標に向かって活動ができる部活にしていきたいと考えています。そして、皆さんに愛される部活動を目指していきます。



【前田純孝賞】

本校初代教頭の前田純孝先生を記念した短歌賞に本校の1・2年生全員が応募して、5名が特別賞に輝きました。

次の機会には、今回賞に入らなかった人も頑張ってください。

〈 準前田純孝賞 〉

1年4組 前田麻奈美さん 解き放つ私の思い槍に込め青空しばふあがる白旗

〈 町長賞 〉

2年8組 佐々木基樹さん 息すれば音もみだれる弱音に弦を見つめて弓の先まで

〈 教育長賞 〉

1年8組 山下楓音さん 朝練が今日も始まる七時半ピアノと私の真剣勝負

〈 神戸新聞社賞 〉

2年6組 新畑貴也さん 誰が好き何が嫌いで何が好きもっと知りたいあの人の事

1年7組 水田嘉治さん 背負投一本背負小内刈今度こそ投げる一勝の壁

